

平成25年

季刊

夏季号

Vol.45

亞東



社団法人亞東親善協会・平成二十五年新春互礼会



一般社団法人亞東親善協会

The East Asian Friendship Association

一般社団法人亜東親善協会の概要

名称 一般社団法人亜東親善協会

(英文名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―五 砂防会館四階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との

経済、文化の提携、交流を通じ、友好親善の増進を図る。

事業

① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の紹介

③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談

⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学の斡旋

⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二十一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任されました。

二〇一三年二月安倍会長の意を受け、会長代行・大江康弘参議院議員が会長を引き継がれ就任されました。現在、領土問題等の紛争、北朝鮮の核問題、発展に伴う水・エネルギー環境問題なども山積しております。

アジアの繁栄と平和に貢献するために、本協会会員一同、役員陣容を強化し、新会長のものと、叡智を結集し努力を続けております。

季刊「亜東」平成二十五年 春季号・目次

一般社団法人亜東親善協会・概要・変遷

二頁

目次・協会役員名簿

三頁

会長就任挨拶 大江康弘参議院議員

四頁

社団法人亜東親善協会臨時総会・互礼会

五頁

東日本大震災二周年追悼式

八頁

国会見学会及び国会議員懇談会

十頁

日台漁業協定

十一頁

留日華僑関係団体新年会

十二頁

社団法人亜東親善協会・新法人移行

十三頁

訪台日記

十四頁

お知らせ 編集後記

十五頁

社団法人亜東親善協会顧問 (順不同・敬称略)

沈 斯 淳	今井 正	齋 籐	毅	毛 友 次	林 錦 清
小田村四郎	黄 清 林	林 瑞 祥	長尾 孝則	楊 作 洲	
施 梨 鵬	鄭 尊 仁	李 純 京	羅王 明珠	謝 文 政	

社団法人亜東親善協会理監事

会 長・理事	大江 康弘				
副会長・理事	張 建 國	張 碧 華	山本 順三		
専 務 理 事	崎谷 秀彦				
事業委員長・理事	南部 晴彦				
理 事	千葉 健司	小松 省二	橋本 靖男	赤松 則宏	
	仲谷 俊郎	東 達夫	新井 秀子	益山 茂	
	李ハロルド	松永理恵子	多 忠和	三浦 信行	
	並木 正芳	伊野 雅晴	柴田 徳文		
監 事	莊司 隆一	藤山 雅康			
支 部 長	青森県・大見光男	岩手県・高橋義麿			
	茨城県・石川多門	広島県・月村俊雄			

平成 25 年 2 月 5 日現在



社団法人亜東親善協会会長

参議院議員 大江 康弘

皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素はあたたかいご指導を賜りますこと、改めて深く感謝と御礼を申し上げます。

さて、短い期間ではありましたが、私共協会の会長をご快諾いただき、何かと当会の運営に一方ならぬご指導をいただきました安倍晋三会長が昨年末の政

権交代によって再度 日本国総理大臣としての重職を担うこととなられ、第二次安倍内閣が無事スタートしました。

誠に喜ばしいことであり、会員一同御同慶に堪えないところであります。改めて安倍会長に心よりお祝いを申し上げます。思います。

安倍会長は総理就任とともに職責上、残念ながら私共の会長職を離れることとなりました。

会の運営上 早急に後任会長を選任する必要があります。会長の代行の立場にある私が役員会において推薦され平成二五年一月一日付をもってお受け致すことになりました。

平成二五年二月五日開催の臨時総会に於いて安倍晋三前会長の後任として亜東親善協会会長

に満場一致承認をいただき就任したことに成りました。

初代会長千葉三郎先生爾来、長い伝統と歴史ある当協会の会長をあずかるということは、大変な重い責任をいただくことであります。役員や会員の皆様のご指導をいただきながら、しっかりと日本・台湾両国の友好を深めていく決意であります。

あの辛かった「三、一一の東日本大地震」の時、誰が、どの国が悲しみを共有し苦しみを分かち合って勇気づけ、力づけてくれたのかを日本国民はしっかりと理解しています。

それは中華民国・台湾であり、留日台湾関係の皆様方であります。

今度是我々が台湾の今後、更に国際社会において、その行動

範囲を拡げていけるよう協力し、助け合っていかなければなりません。

我々にはその決意と覚悟があります。

政治の現場では、時にはぶつかり合って、国と国との間に溝や壁ができませんが、その溝を埋め壁を取り払ってくれるのが両国の一人一人の国民であります。

日頃のその努力に衷心より感謝し、本年も両国が一緒になって発展していけるよう、台湾を心から愛する国会議員の一人として力一杯頑張つて参ります。

日本・台湾両国の友好親善と両国民の幸せを願いつつ就任の挨拶といたします。

【平成二五年二月五日】

社団法人亜東親善協会臨時総会

(総会に先立ち、理事会を開催)

平成二十五年二月五日

於・ザ・キャピトルホテル東急
司会・赤松則宏理事

冒頭、大江康弘会長代行は、今日の日台関係の進展状況を評価しながら「今日は、幾つかの議事を討議戴き決定して戴くという大事な臨時総会です」と話された。



続いて、張建國議長を選出。

全会員のうち出席者(委任状を含む)は、定款の規定の定足数を満たしたとして、臨時総会の成立を宣言した。

議事録署名人に南部晴彦理事・柴田徳文理事を選出した。

一号議案、「第四一回通常総会第一号議案再承認の件」

二号議案、代表理事退任承認の件
三号議案、代表理事退任承認の件

三議案は、関連があるとして、一括審議とした。

*安倍晋三代表理事(会長)の内閣総理大臣就任に伴い、退任(二月二五日)されたため、大江康弘会長代行を代表理事(会長)とする案の承認です。

三議案は、満場一致で承認され、大江康弘新会長就任が決定した。

山本順三副会長は、「大江先生は、最初は会長就任を固辞されていましたが最後は強い意志でお受け戴いた。

台湾に行った回数は空前絶後。

申し分のない会長だと思います。これからは大江会長を中心に頑張ります」と述べられた。

(右から) 山本順三副会長

岩城光英顧問・周學佑業務部長

渡辺博道顧問・松下新平顧問



新春互礼会

臨時総会閉会后、会場を隣に移し、一八時より「社団法人亜東親善協会平成二十五年新春互礼会」が開催された。

司会 並木正芳理事

主催者側から新会長・大江康弘参議院議員より就任の挨拶を兼ね、「日台関係における政治の面は『日華議員懇談会』が窓口となっています。亜東親善協会は、民間の皆さん、とりわけ、祖国を離れ日本で長きにわたり、日本の国民と信頼関係を築き上げてきた中華民国(台湾)出身の皆さんが中心となって運営をしている会である。その方向性および我々の目的を忘れずにしっかりと頑張っていきたい。民間の皆さまにも入って貰って日台関係をますます進めていきます」と述べられた。

続いて中華民国（台湾）を支持する日本の超党派の国会議員により組織されている「日華議員懇談会」の会長である平沼赳夫衆議院議員は、宝塚歌劇団の台湾公演、台湾国立故宮博物院の日本での開催を喜びながら「これからは東シナ海の漁業権の問題が大事です。会議は継続してありますが本腰を入れていく必要があります」と述べられた。



台北駐日経済文化代表處・羅坤燦副大使は、民間レベルでの交流を高く評価しながら、日台の往来人数が三〇〇万人を突破したことなど様々な交流の成果を挙げ、大江新会長就任についてお祝いの言葉を述べられた。



公益財団法人交流協会・今井正理事長は、大江新会長就任についてお祝いの言葉を述べると共に、東日本大震災における台湾からの支援に感謝の意を表した。



続いて、協会顧問・岩城光英参議院議員により乾杯の音頭がとられ、歓談へと続きました。



この日、「第六四回さつぽろ雪まつり」(代表處・国立中正紀念堂国際雪像コンクールに台湾の人気キャラクター「雷音三太子」の雪像を制作)に出席し、北海道知事を表敬訪問され帰京した、台北駐日経済文化代表處・沈斯淳大使も会場に駆けつけると、大きな拍手が起きた。沈大使は「昨年五月三〇日に日本に降り立ち、八ヶ月あつという間に過ぎました。大江新会長に御世話

になり、公私ともに充実したことに感謝を申し上げたいと思います。」と述べ、会長就任に対する祝意を表され、さらに「台日関係はこの一年の間、多くの具体的進展があった。当代表處では今後も引き続き、経済、文化、教育、青少年間における双方の交流を推進すると共に、二国間の協力の機会を積極多岐に促していく所存であり、亜東親善協会の支持を引き続きお願いしたい」と述べられた。



この日の互礼会には台湾との積極的に進めている日本の国会議員および地方議員各位が出席したほか、日本交流協会との関係者、日本中華聯合總會の毛利友次會長・留日中華留日東京婦女會・羅王明珠名譽會長、留日中華民國民濱華僑總會・施梨鵬會長をはじめ各華僑団体の関係者、駐日代表處の関係者、台日間の友好促進に尽力している双方の関係者ら約一三〇名が出席した。



午後八時すぎ、張碧華副会長の音頭で中締めを行った。



盛会裡にお開きとなりました。

また、蘇貞昌・民進党主席ら一行と来日された許世楷・元駐日大使も駆けつけ記念写真を取られ挨拶をされた。旧正月を祝う交流の場となりました。



東日本大震災二周年追悼式

平成二五年三月一日

於：国立劇場・大劇場

たつて人々が築いてきたふるさとが痛々しく破壊されており、被災者の悲しみはいかばかりかと察せられました。

追悼式典は、天皇・皇后両陛下のご臨席のもと、安倍晋三内閣総理大臣が主催し、閣僚、国会議員、各国駐日使節、遺族代表らが出席し、執り行われました。

天皇陛下のお言葉

本日、東日本大震災から二周年を迎えるに当たり、ここに一同と共に、震災によりかけがえない命を失われた多くの人々とその遺族に対し、改めて深く哀悼の意を表します。

二年前の今日、東日本を襲った巨大地震とそれに伴う大津波により、二万人を超す死者、行方不明者が生じました。震災後に訪れた被災地では、永年にわ

一方、この厳しい状況の中、被災地で、また、それぞれの避難の地で、気丈に困難に耐え、日々生活している被災者の姿には、常に深く心を打たれ、この人々のことを、私どもはこれからも常に見守り、この苦しみを、少しでも分かち合っていくことが大切だとの思いを新たにしています。

この度の大地震に際して、厳しい環境の下、専心救援活動に当った自衛隊、警察、消防、海上保安庁をはじめとする国や地方自治体関係者、多くのボランティア、そして原発事故の対応に当った関係者の献身的な努力に対し、改めて深くねぎらいたく思います。

諸外国からも実に多くの善意

が寄せられました。物資や義援金が送られ、また、救援の人々も多数来日し、日本の救援活動を助けてくれました。また駐日外国大使など日本に住んでいる外国人をはじめ、災害発生後の日本を訪れる多くの外国人が、被災地に赴き、被災者を励ましてくださっていることに感謝しています。

この度の津波災害において、私どもは災害に関し、日ごろの避難訓練と津波防災教育がいかに大切であるかを学びました。この教訓を決して忘れることなく、これから育つ世代に伝えていくことが大切と思います。

今後とも施設面の充実と共に、地域における過去の災害の記憶の継承、日ごろからの訓練と教育などにより、今後災害の危険から少しでも多くの人々が守られることを期待しています。危険な業務に携わる人々も、こ

の度の経験をいかし、身の安全が確保されることに工夫と訓練を重ねていくよう願っています。

今なお多くの苦難を背負う被災地に思いを寄せるとともに、被災者一人びとりの上に一日も早く安らかな日々戻ることを一同と共に願ひ、御霊への追悼の言葉といたします。

安倍晋三内閣総理大臣の式辞

本日ここに、天皇、皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、東日本大震災二周年追悼式を挙行するに当たり、政府を代表して、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

かけがえない多くの命が失われ、東北地方を中心とするわが国の国土に未曾有の被害をもたらした東日本大震災之発生から、二年の歳月がたちました。この震災により亡くなられた

方々の無念さと、最愛の方を失われたご遺族の皆さまの深い悲しみに思いを致しますと、誠に痛恨の極みであり、哀惜の念に堪えません。ここにあらためて、衷心より哀悼の意をささげます。また、今なお行方の分らない方々のご家族をはじめ、被災された全ての方々に、心からお見舞いを申し上げます。

被災地をはじめ全国各地では、いまだに多くの方々が不自由な生活を送られています。原発事故のためにいまだふるさとに戻れない方々も数多くおられます。今を懸命に生きる人々に、復興を加速することで応えることが、天国で私たちを見守っている犠牲者の、み霊に報いる道でもあるはずです。

持てる力の全てを注ぎ、被災者に寄り添いながら、一日も早い被災地の復興、被災者の生活再建を成し遂げるとともに、今

般の教訓を踏まえ、わが国全土にわたって災害に強い強靱な国づくりを進めていくことを、ここに固くお誓い致します。

この震災では、助け合いの力が大きく発揮されました。地元の方々のご努力、関係機関の尽力はもちろんのこと、全国各地から多くの支援の手が差し伸べられました。さらに、本日ここにご列席の世界各国・各地域の皆さまからも、多くの、温かく心強いご支援をいただきました。あらためて、感謝の意を申し上げますと思います。

わが国の先人たちは、幾多の困難を克服し、そのたびに、よりたくましく立ち上がってきました。今日を生きる私たちも、それに倣い、手を携えて、前を向いて歩んでいくことをあらためてお誓いいたします。

み霊の永遠に安らかならんとを、あらためたお祈り申し上げます。

げるとともに、ご遺族の皆さまのご平安を心から祈念し、私の式辞と致します。

昨年の追悼式典には「指名献花」の対象から外された中華民国でしたが、本年は各国使節団や国際機関の代表が並ぶ来賓席に着席し、「駐日台北経済文化代表事務所」呼び上げられ、中華民国政府及び国民を代表し、沈斯淳代表も各国の使節と共に震災により亡くなられた方々およびご遺族に対し哀悼並びに弔意の献花を行いました。

中華人民共和国の韓志強駐日臨時代理大使は、指名献花に台湾が加わったことで、「台湾の關係者を外交使節や国際機構と同等に扱った」として抗議を表し二周年追悼式を欠席した。

昨年の追悼式典では、野田佳

彦政権が中華民国を指名献花から外した上、一般関係者席に案内し批判され、野田佳彦内閣総理大臣が国会で陳謝をしました。

安倍晋三内閣総理大臣は「フエースブック」で三月一日に行われた東日本大震災慰霊式典に台湾代表を指名献花の対象に加えたことについて述べた。

「昨年行われた慰霊式典では、台湾の代表は招待され出席していたにも関わらず名前すら読み上げられませんでした。震災発生時、台湾は世界のどの国よりも多額の二百億円を超える義援金を贈ってくれた大切な日本の友人です。台湾の人々を傷つける非礼な対応でした。」と指摘し、そのうえで「今年はこの対応を改め、台湾に対し感謝の意を込めて『指名献花』をしていただけでなくにいたしました。」と語り、台湾への感謝の意を示した。

中外協會大專青年日本參訪團
国会見学会及び国会議員懇談会

平成二五年二月一日 金曜日

中華民國・中國國民黨僑務委員
會主催の大學青年學生の訪問団。

團長・中華民國行政院僑務委員
會 簡任秘書 余年 先生



国会議事堂正門前にて

團員 李昕燁・台北商業技術學院

蘇柏璇・淡江大學

蔡佳穎・政治大學

陳雅柔・政治大學

朱語涵・高雄應用科技大學

林傳恩・台灣大學大學院

余 昊・海洋大學

劉原銘・台灣科技大學

鍾亦奇・海洋大學

楊淑珍・國民黨東京支部

張建國・協会副会長

隨行
通訳



国会中庭・古屋圭司大臣と

一〇時三〇分 参議院参観所前集合
参議院本会議傍聴

国会議事堂正面にて記念撮影
国会中庭で、日華議員懇談会役
員・協会顧問・古屋圭司大臣と
遭遇「大臣現職なので、台湾に
は行けないが、以前は頻繁に訪
台していた」と話された。

参議院議員会館一〇二会議室
へ移動。昼食を摂りながら懇談。
懇談会へ出席議員

参議院議員 松 あきら 先生
衆議院議員 金子 恭之 先生
参議院議員 山本 順三 先生

松あきら先生…一八年前、扇
千景先生と訪台した。四月には
台北で宝塚公演もあり、若い人
の友好交流を推進したい。

金子恭之先生…中華民國には
何度も訪問した。

山本順三先生…昨年王金平閣
下が来日された。故宮博物院展
の日本開催、宝塚歌劇團の台北
公演について述べられた。



質問 何故、首相が変わるか？
四年(本来は替わるべきでない)
中曾根・小泉政権は五年。自公
でも毎年替わったが、民主も、
もっと短い交替があった。安倍
政権は長期政権になると信じて
います。

議員定数の削減…台湾では、
半数にし、歳費の浪費を図れた
が選挙で専門性の高い人が当選
出来ず、減員は必ずしも良くな
い。多くの意見が出なくなる。
*その他、質問が有りました。

日台漁業協定・合意

四月一〇日、日本（公益財団法人交流協会）と台湾（外交部亜東關係協會）は、約四年ぶりとなる日台漁業協議を台北市内・台湾寶館で行い、沖縄県尖閣諸島海域周辺での操業ルールを定めた漁業協定の合意に達した。

一九六六年八月に第一回日台漁業協議が台北で開催された。以来一七七年間に一六回の正式会議、予備会合が開催された。

昨年一月、第一七回日台漁業協義再開に向けた第一回予備会合を東京で開催。

第二回予備会合が三月一三日公益財団法人交流協会本部会議室で開催された。日本側は小松道彦交流協会総務部長を団長とし、オプザーバーに外務省、水産庁、海上保安庁の各関係者。

台湾側は、台北駐日經濟文化代表處・政務部 周學佑部長を団長とし、外交部、行政院農業委員會漁業署、行政院海岸巡防署の関係者が出席した。

協議はともに友好的な雰囲気の中で、行われ、日台双方より民間漁業協議の作成に向け、それぞれの考えに関する説明が行われた。互いの意見の一致はなすが、第一回予備会合の議論を踏まえ、今回は建設的で率直な意見交換が行われた。

周學佑団長は、台日双方が友好関係と資源共有の精神で、誠意と善意を持って、争議を棚上げし、コンセンサスを追求し、漁業資源保護および管理メカニズムの構築を検討するようわが方が期待しているとともに、双方が正式な協定調印の前段階においては、現有の漁業作業秩序および操業権を互いに尊重し、

引き続き緊密に意思疎通と協議を続けていくよう呼びかけた。

日台双方は協議の中で、漁船操業水域および漁業資源保護管理等の議題について十分に意思疎通をし、意見交換するとともに、出来るだけ速やかに次回協議を実施することで合意した。

日本側は交流協会・大橋光夫会長、台湾側は亞東關係協會・廖了以會長が団長とし、関係者出席のもと、沖縄県尖閣諸島海域周辺での操業ルールを巡る台湾との漁業協定を締結することで合意した。

台湾漁船の日本領海への立ち入りは認めず、尖閣諸島周辺の日本の排他的經濟水域（EEZ）の一部に共同水域を設け、台湾漁船の操業を認める。
一〇日午後、日台漁業協義を再開し、協定に調印した。

日台双方の漁船が操業できる共同水域は、北緯二七度以南、石垣島、宮古島等より北側で、台湾が主張する「暫定執法線」にもある程度配慮した。この水域内では、日台双方の漁業関連法令の適用除外とする。協定の発効は約一ヶ月後となる。

また、共同水域での乱獲を防ぐため、出漁する漁船数の調整などを行う日台の漁業管理委員会を新たに設けることでも合意し、同委員会合を開催される。

日本側は、四月に入って尖閣諸島周辺水域でマグロ漁などが本格化する中、不法操業の取締りで台湾漁船との衝突を防ぐため、協議を開き、合意を急いでいた。

尖閣諸島周辺は、豊かな漁場で、海上保安庁は、日本のEEZ内で操業する台湾漁船を取り締まってきた。

中華民國留日臺灣同鄉會

懇親大會

開催日 一月二日

於 ウエスティンホテル東京
陳木川會長・曾鳳蘭執行委員長
沈斯淳駐日大使、羅坤燦・陳調
和副大使、吳英毅僑務委員會委
員長、協會會長大江康弘參議院
議員等四〇〇名が出席。

大江会長は壇上で「今年も皆
さんと一緒に頑張って参ります」
と両国語で挨拶、喝采を浴びた。



中華民國留日横浜華僑總會

慶祝中華民國一〇二年新年酒會

開催日 一月一日

於 ローズホテル横浜
青天白日滿地紅旗の入場。日華
両国国家斉唱。来賓に沈斯淳駐
日大使、陳調和副大使、田中和
徳・松本淳衆議院議員、協會會
長大江康弘參議院議員等が出席。

主催側施梨鵬會長より「馬總
統の再選、辰巳の年は財運の神
である」と新年の挨拶を述べた。



中華民國建國一〇二周年

春節聯歡會

開催日 一月二七日

於 東京中華学校
主催 東京中華学校校友會
校庭で國旗掲揚式が行われ、
陳櫻芳會長より「生徒が春節の
準備し、体育館に正月の食べ物
を用意している」挨拶をされた。
任弘僑務委員會副會長も和太鼓
演奏に飛び入り参加され、演奏
に参加された。



慶祝中華民國建國一〇二年

僑務委員會春節文化訪問団・

開催 二月八日 於 淺草公会堂

日本中華聯合總會毛友次會長の
挨拶の後、沈斯淳大使登壇「是
非楽しんで」と挨拶をされた。
大江康弘會長は「台日間は特別
な関係にある。日頃より皆さん
の努力のお蔭で、良い関係を築
いてきた。両国が今後も絆を深
めていくことが出来るよう、頑
張っていききたい」と挨拶した。



中華民國留日東京華僑婦女會

三月八日 國際婦人デーを祝うと共に、創立三十周年記念祝賀大会をホテルニューオータニ「鳳凰の間」で開催された。

開会を宣した吳淑娥會長（亜東親善協会理事）は、「本日は、中華民國留日東京華僑婦女會創立三十周年の良き日にあたり、ここに御集り戴きました沈斯淳代表をはじめ、多くの来賓の皆様方に心より御礼申し上げます。これからも引き続き、ご支援とご協力を賜りたいと思います」と挨拶された。

台北駐日經濟文化代表處沈斯淳大使は「日頃から吳淑娥會長・羅王明珠名譽會長ほか役員の皆様のご努力によりこれまで着実な発展を遂げ。又、台日間の婦女交流に力を入れられてこられたことに敬意を表します」と述べられた。

来賓を代表し、橋本英教衆議

院議員は「日台の橋渡しをした玉澤徳一郎先生の秘書をやつており今回初当選をした。お招き戴き光栄に想う」と述べた。魚住裕一郎参議院議員は参加は一八回目になるとし、婦女會の発展の軌跡をお祝いされた。

岩城光英参議院議員は、福島県出身であり、東北大震災の際台湾からの二百億円の義捐金等のご支援に感謝の意を表された。



協会から大江会長夫人を始め多くの理監事が参加されました。

社団法人亜東親善協会

新法人へ移行

専務理事 崎谷 秀彦

平成二十年十二月から施行された、「新法人法」三法に基づき新法人への移行を図るべく七名の検討委員（張建國・千葉健司・益山茂・赤松則宏・南部晴彦・崎谷秀彦の各理事、藤山雅康監事）を選任。

検討に検討を重ねて、昨年十二月六日内閣府へ、安倍晋三会長名で申請の手続きを取りました。

しかしながら、その間政局急を告げ弊協会・安倍晋三会長は内閣総理大臣に就任される見通しとなり、内閣府より至急に総会を開催し必要な手続き（代表変更）をとるよう指示があり、本年二月五日・新年互礼会に先立ち、臨時総会の開催に漕ぎつ

け必要な手続きは全て完了することができました。

三月二十八日付 内閣府より認可書が交付され、これを受理。

平成二十五年四月一日より

一般社団法人亜東親善協会

として、参議院議員・大江康弘新会長のもと再出発することとなりました。

今後の協会運営については新法の定めるところに従って、新しく制定した定款及び諸規定に依ることと致します、

尚、暫らく閉鎖しておりましたホームページも再開いたしましたのでご覧ください。

訪台日記

一般社団法人亜東親善協会

理事 南部 晴彦

四月五日 金曜日 一四時三五分
中華航空二二二便・羽田空港発
松山機場・定刻一七時五分着

空港の待ちタクシーは、清明節の影響か普段より少ない。ホテルに向かう、街中も渋滞を感じること無く、スムーズでした。

第一日目 夕食は、日本の報道各社・台北支店長と。日本からのお客は当然・中華料理を希望するので、たまには和食との事で、日本からの土産・岩手県の地酒「南部美人」で乾杯。

台湾では、清明節で四月四日から七日まで四連休、各地へ祖先の墓参りのため、里帰りするので台北市内は、人が少なくなっているとの事。普段、宜蘭縣まで雪山隧道で約五十分が二時

間も掛り。交通部に苦情が殺到したとの事。

*日台間の問題、尖閣諸島周辺海域の漁業問題に関心がある。

*明日から始まる宝塚歌劇団台北公演が話題になっている。

*協会・多理事の間合せ、三月二七日午前に南投縣で発生した最大震度6の地震は、犠牲者は一名であった。義捐金は、駐日代表處でも受け付けるとの事。

第二日目 國立中正文化中心 台北國家戲劇院

寶塚歌劇團星組・台湾公演。寶塚歌劇團創設九九年記念公演

出演は男役トップ 柚木礼音さん 音楽劇「怪盜楚留香外伝花盗人」

寬宏售票 服務電話: 07-7809900
24小時服務專線 www.kh.com.tw

票種: 寶塚歌劇團星組公演
Takarazuka Revue in Taiwan
台北國家戲劇院(台北市中山南路21-1號)
看別表或至各年會年會場或入場, 年會及小學(一~五))

日期 Date: 2013/04/06 (六) 19:30
票位 Seat: 1樓 08排02號 票價 Price: 500元 起
急位

主辦: 寶塚歌劇團/寶塚歌劇團株式會社 承辦: 寬宏售票 07-7809900
訂位: 中華郵政特准掛號認爲新聞紙類, 本報社址加蓋郵政日刊特准掛號, 請寄海峽報!!

訂位: 寶塚歌劇團株式會社 寶塚市東區高島町4丁目1-6號 電話: 078-251-1111
779-613 0000058488, 1樓 08排02號 訂位電話: 093488273

台湾の(ア) ルセーヌ・ルパンII 楚留香 人気キャラクターの活躍を



華やかに 演出した。 協賛会社 中國信託 商業銀行 最高顧問 馮寄台前 駐日大使、

中諒集團・辜仲諒董事長は、辜濂松前董事長のご子息です。既に公演チケットは全て完売。

カーテンコールでは、柚木礼音さんが台湾語で「大家好」と挨拶、「震災の時に台湾から戴いた愛情をお返しするつもりで演じた。台北國家戲劇院は、今公演が最後で、全改装するとの事。

第三日目 新幹線で高雄移動 平成一九年十一月、玉澤徳一郎 団長で高雄視察の際に、日曜日にも関わらず、高雄港湾局・港湾施設の見学を手配して戴いた 啓昌股份有限公司・顔玉海董事長(当時)がご逝去されたとの

ことでお墓参りに行きました。



顔董事長は、協会六十周年記念祝宴に、来日された。平成二二年二月、並木正芳団長での高雄訪問時には、奥様同伴でお顔を見せられた。

第四日目 宜蘭縣林錫忠礁溪郷長(前宜蘭縣秘書長)・表敬訪問。西郷菊次郎碑、日台友好・觀光交流として、前回訪問時に話題となった、櫻植樹の話が有りました。用地は郷側で用意し、台湾で接ぎ木栽培された、櫻を公園内に記念植樹するとの話。

予算が少ないので、日本からのサポートを期待しています。

お知らせ

【一般社団法人亜東親善協会・総会・講演会・懇親会の案内】
会場・ホテル・ルポール麹町 ○三・三二六五・五三六一

移行後、最初の総会 平成二十五年五月十五日(水) 十六時

講演会講師(独法) 海洋研究開発機構理事長・平朝彦様 十六時五十分

懇親会 十八時より十九時四十分 (参加会費一万円)

【代表處・人事異動】

張仁久・業務部長は本国に帰任されました。後任には、周學佑
副部长が昇格され、副部长に張淑玲首席課長が就任されました。

【訪台団・社会見学会・留学生交換会・講演会】

訪問先希望、開催時期等の要望は、事務局まで御一報下さい。

【李ハロルド理事ご結婚】

二月二日 華飾の典を挙げられました。現職理事の婚礼は協会
始めること、誠に、ご結婚おめでとうございます。

【計報】

○公益財団法人交流協会前会長・服部禮次郎氏(和光・前会長)

一月二十二日御逝去されました。(享年九二歳) 中華民國政府より

大綬景星勳章を授与されています。ご冥福をお祈り申し上げます。

○弊協会顧問・李海天先生(蔣經國中日文化交流基金会理事主席)

一月二十四日御逝去されました。(享年八九歳) 二月八日に馬總統

より總統褒章令を追贈されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記 季刊「亜東」平成二十五年 春季号

安倍晋三会長、内閣総理大臣就任に伴い、協会会長を辞任され

参議院議員大江康弘会長代行が、会長に昇格就任されました。

季刊亜東編集部一同、陣容を強化、叡智を結集して参ります。

○協会の活性化を目指し、会員の拡充を図っています。

会員各位のご紹介により多くのご入会を期待致しております。

【年会費】①法人五万円以上。②賛助会員三万円。③個人一万円。

表題【亜東】は中華民國總統馬英九閣下の御揮毫です

季刊 亜東 (アジアの架け橋) 平成25年 春季号 (No.45)

発行日 : 平成25年4月15日

発行所 : 一般社団法人亜東親善協会

編集 : 南部晴彦(事業委員長)

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階

Tel:03-3261-6405 Fax:03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印刷 : ヨシダ印刷株式会社

台湾の魅力を、あなたにも。 チャイナ エアライン



チャイナ エアラインで、台湾の旅へ。

台北101や日月潭、阿里山など、見どころにあふれた台湾。

日本から飛ぶなら、チャイナ エアラインで。行き届いたサービス、快適なひととき…。

台湾を訪れるあなたを、心を込めたおもてなしで歓迎いたします。